

科目番号	65	科目名	環境社会学	
英文科目名	Environmental Sociology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	閻 美芳 ( 社会学部 講師 )			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名		会場	瀬田	
授業期間	2023年9月25日(月)～2024年1月15日(月) <毎週月曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	70	%	
		【備考】 期末レポート		
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)	30	%	
		【備考】 コミュニケーションシートの内容		
	その他( )		%	
別途負担費用	なし あり( )円			
その他特記事項	<p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 授業の際に通知する。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 ・グループディスカッションに参加できるように、予習・復習をしっかりと行ったうえで授業に臨んでください。 ・普段から意識的に報道等に接し、社会にアンテナをはっておいてください。</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 月曜日の昼休み@研究室(2号館335)。連絡方法:連絡についてメールでお願いします。 メールアドレスは授業中に指示します。</p>			
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>				
【講義概要】 この講義では、環境問題を分析する方法として、環境社会学の基本的な理論枠組みについて概説する。とりわけ生活環境主義という考え方に焦点を当て、環境問題に立ち向かう人びとの動きを地域コミュニティの側から考えることの必要性や重要性に焦点を当てて論じていく。				
【到達目標】 ・環境問題に対する様々なアプローチの仕方について理解するとともに、それらを踏まえて問題を自分で考え、社会的に分析ができる。 ・環境社会的な観点(生活環境主義)から身近な自然環境と人間の暮らしの関係を分析し、説明できる。				
【講義方法】 講義形式を基本とするが、あわせて授業中にグループディスカッションを導入する。また、毎回、授業で感じた疑問点や次回の授業への要望などについて、コミュニケーションシートの提出を求める。授業では、各事例のリアリティを伝えるため、教員が撮影した写真やビデオ資料を呈示するほか、必要に応じて既存の映像資料も使用する。				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	9月25日	オリエンテーション
2	10月2日	環境問題における加害と被害
3	10月9日	環境問題における受益・受苦
4	10月16日	社会的ジレンマとしての環境問題
5	10月23日	生活環境主義の考え方—誰がしっかりすれば環境は守られるのか
6	10月30日	暮らしとともにある環境はどのように管理されるのか
7	11月6日	嫌がられる環境を誰が受け入れるのか
8	11月13日	人はどのように環境と遊んできたのか
9	11月20日	日本の草原はどのように維持されてきたのか
10	11月27日	公園は都市の環境を豊かにしてきたのか
11	12月4日	これまでのし尿はどのように処理されてきたのか
12	12月11日	環境と観光はどのように両立されるのか
13	12月18日	人と野生動物はどのような関係を築かれるのか
14	12月25日	未曾有の災害に人はどのように対応していくのか
15	1月15日	講義の振り返りとまとめ
<b>＜教科書・参考書＞</b> <b>【テキスト】</b> 足立重和・金菱清 『環境社会学の考え方—暮らしをみつめる12の視点』（ミネルヴァ書房） (ISBN:978-4-623-08527-9) <b>【参考文献】</b> 鳥越皓之・帯谷博明 『よくわかる環境社会学』（ミネルヴァ書房）(ISBN:978-4-623-07934-6)		